

都庁記者クラブ会見のお知らせ

日本イコモス国内委員会

「無謀な神宮外苑再開発」にピリオドを打つため、東京都環境影響評価審議会における民主主義の原則を遵守した論議と、再審が必須です。

令和6年度「東京都環境影響評価審議会」第7回総会が、10月21日（月）に開催されることが公表されました。

今回も日本イコモスには、全く連絡はありません。

環境影響評価書における数々の虚偽については、これまでも、国際イコモス、日弁連会長、国連人権理事会から指摘が行われてきました。「誰の目からみても衰退が著しく」、かつ9月9日の事業者報告のなかでも、雇用された樹木医でさえ「いつ枯死しても不思議はない」と診断しているイチョウを、「すべて健全」との事業者報告を受理し、施行認可を導いた東京都環境影響審議会の決定（2023年1月30日）は、「民主主義の原則を、著しく、逸脱する」ものです。

日本イコモスは、データに基づき、この虚偽を再度、明らかにし、公明正大な審議を行うよう記者会見を行います。東京都の環境行政、都市計画行政が信用を失墜することなく、「誇り」を失うことがないように、最大限の努力をする所存です。マスコミの皆様におかれましても、虚偽をひたすら黙認するという審議会の姿勢に対して、開発の是非の論議を越えて、「民主主義の原則の遵守」という視点から、お考えいただきたく、記者会見への御参加をお願いする次第です。

日本イコモス会見 2024年10月17日（木）13～14時

場所：都庁記者クラブ

出席者：日本イコモス理事・石川幹子他

Tel/Fax03-3261-5303 Email jpicomos@japan-icomos.org